

SPコミュニティ ご挨拶

国立情報学研究所
トラスト・デジタルID基盤研究開発センター
佐藤周行
2025-10-08

@SPコミュニティミーティング

自己紹介

- 国立情報学研究所 (NII)
- トラスト・デジタルID基盤研究開発センター
- 佐藤周行 (2024--)
- 学認 (academic identity federation)



https://trustdigitalidcenter.jp

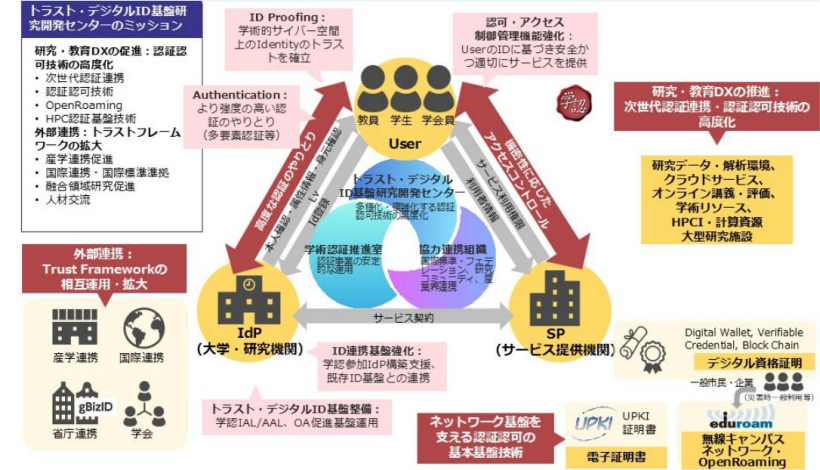
目次

概要
お知らせ

トラスト・デジタルID基盤研究開発センター

学術DX—研究・教育DXの促進

• 学術研究プラットフォームへの次世代認証連携によりアカデミア・産業界・海外連携、融合領域研究を推進。



お知らせ

[「デジタル学生証の標準様式と発行シナリオ \(mdoc版\)」のパブリックコメント募集のお知らせ](#)

2025年5月20日

[「学術機関の発行する証明書のための標準属性とその利用シーン」のパブリックコメント募集のお知らせ](#)

<https://trustdigitalidcenter.jp>

トラスト・デジタルID基盤研究開発センター

- 2024年4月、トラスト・デジタルID基盤研究開発センターが発足しました
- 発足当時のミッション：
 - 次世代認証連携、認証認可技術の高度化
 - トラストフレームワークの相互運用・拡大
 - ネットワーク技術を支える認証認可の基盤技術のサポート
- 特に「学認」の運用サポートは重要なミッションでした

学認SP研究会

- IdPの数が増えても、「何に使えるのか」の情報提供が充分であつたかは…
- IdPを立てて、学内でSSOが可能にすればとりあえず利便性は実感できる
- 学外のサービスを利用するには学認への参加が必要だが、「そもそも、学外のサービスには何があるのか」の情報発信が不十分なら、判断のしようがない
- ところが、状況的には

GakuNin RDM（研究データ管理基盤）



[GakuNin RDM](#) は、研究者が研究データや関連資料を管理・共有するための研究データ管理サービスです。研究者は本サービスのクローズドなファイルシステムで共同研究者とデータ共有を始めることができます。研究プロジェクト中に生成されるファイルを保存して、バージョン管理やメンバー内でのアクセスコントロール、メタデータの登録や管理ができます。また、研究公正への対応として研究証跡を記録する機能を有します。RDMとは「研究データ管理 (research data management)」を意味します。

GakuNin RDMの画面例





[HOME](#) / [サポート](#) / [JAIRO Cloud](#)

JAIRO Cloud



JAIRO Cloud
Japanese Institutional Repositories Online Cloud

[Web magazine](#) ↗
[Community tools](#) ↗
[JAIRO Cloud](#) ↗

学認SP研究会

- （普通の）大学の体力に余るものが文科省からどんどん降ってくるようになりました
 - 国際対応から言ってしまうとしょうがないこともある（弁護）
- そこで、トラストセンターでSP研究会を立ち上げて、「どのようなサービスが大学に提供されていて、どうコンタクトを取ればよいのか」の情報を提供することを決めました
- まず、ミーティングの設定から

トラストセンターのWebページ内の記述

- 当センターでは、学認SPコミュニティ拡大のために、活動しています。

学認を広く活用していただくために、機関が学認に参加する意味を見出せる学認SP(Service Provider)の拡充が必要です。これを達成するため、学認SP 改良・開発・開拓・発掘、学認SPコミュニティの充実がポイントになります。

SPコミュニティの活動により、機関では、サービスが向上する、新たなサービスが生まれることによって、受験生が増える、優秀な学生が増える、教育の質が向上する、研究が促進される、同等のコストでより高機能・高性能になるなどのメリットが期待されます。幅広い方々の学認SPコミュニティへの協力をお願いします。具体的な活動は、SP研究会を開催や、カタログサイトを支援しております。参加希望の方は、[お問い合わせフォーム](#)からご連絡ください

- 活動状況

第4回	2025年12月3日	学認SP研究会	場所：札幌
第3回	2025年6月17日	学認SP研究会	場所：国立情報学
	研究所 資料		
第2回	2025年3月19日	学認SP研究会	場所：東京大学
	資料		
第1回	2024年12月9日	学認SP研究会	場所：奈良コンベ
	ンションセンター	資料	

-

SPコミュニティ

- 学認SP研究会は議論の場を提供します
- SPコミュニティが、SPとIdPの具体的な交流の場になると期待しています
 - カタログの提供他
 - NIIに対する公正さのしほりを越える交流ができるようになります
- トラストセンターはいろいろお役に立とうと思います。よろしくお願いします